

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第32週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が66例あった。第31週目までの届出は195例であり、届出総数は261例となった。

全数報告の感染症 (32週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：A型肝炎1例。5類感染症：薬剤耐性アシネトバクター感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	肺結核	—
		延岡	70歳代	女	肺結核	歩行困難
		日向	70歳代	男	肺結核	動悸
3類	腸管出血性大腸菌感染症	日向	60歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O157(VT1VT2)
4類	A型肝炎	宮崎市	60歳代	男	—	食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常
5類	薬剤耐性アシネトバクター感染症	都城	60歳代	男	—	肺炎

指定感染症 (32週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群									症状
			10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	16例		2	3	4	1	2	3		1	発熱、咳、全身倦怠感等
	都城	21例		1	2	1	7	2	3	4	1	
	延岡	14例	2	2	2	3	1	1	2	1		
	小林	1例		1								
	高鍋	9例		4	3		2					
	日向	5例	1	1		2	1					

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は318人(定点当たり9.8)で、前週比87%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

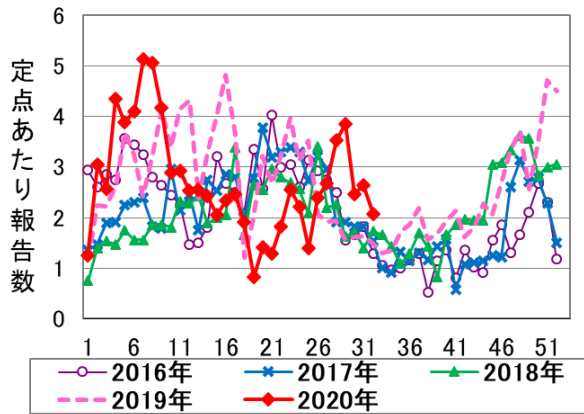
報告数は75人(2.1)で、前週比79%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約1.4倍であった。延岡(7.5)、日南(3.7)、宮崎市(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は2~5歳が全体の約7割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

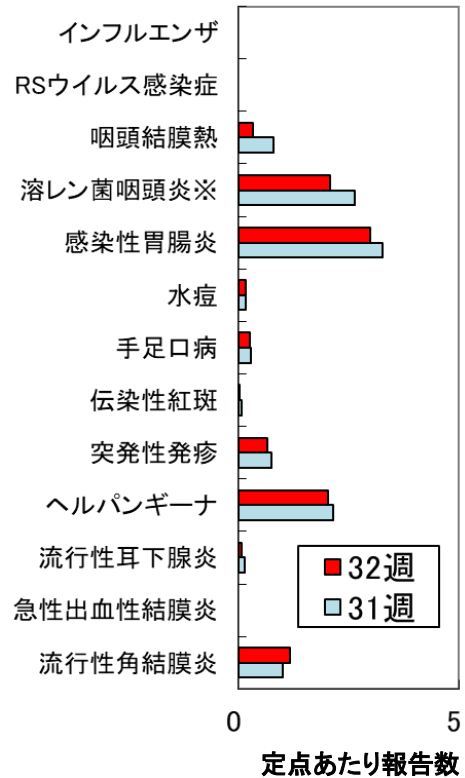
報告数は73人(2.0)で、前週比95%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(3.0)の約0.7倍であった。延岡(7.5)、都城(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約7割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

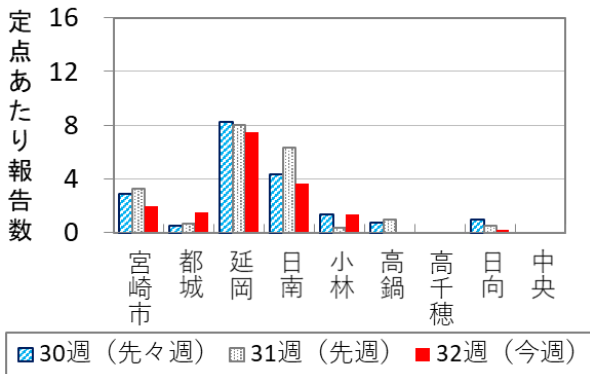


《前週との比較》

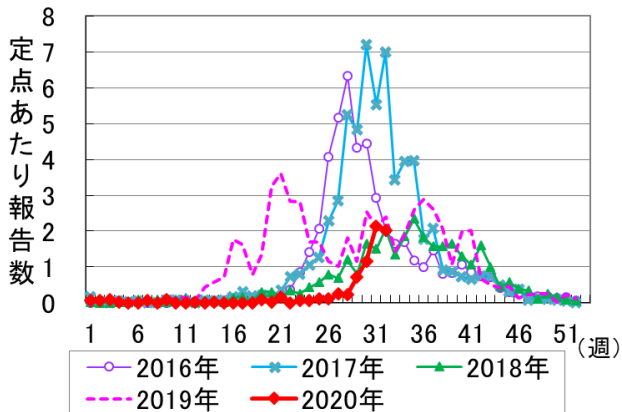


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

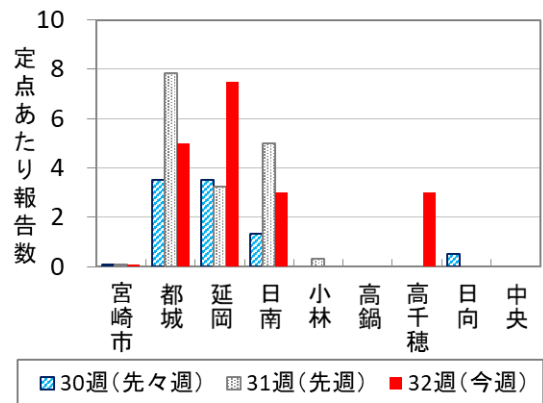
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(7.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値*
・ヘルパンギーナ(6)

🇯🇵 全国 2020 年第 31 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 31 週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	241 例			
3類感染症	コレラ	1 例	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症 85 例
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	2 例	回帰熱 1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	日本紅斑熱	6 例	ライム病 3 例
5類感染症	レジオネラ症	62 例			
	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 24 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	11 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘（入院例）	4 例	梅毒 64 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	百日咳	11 例			

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 116%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、咽頭結膜熱と感染性胃腸炎、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,229 人(0.7)で前週比 100%と横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.4)の約 0.5 倍であった。福岡県(2.7)、宮崎県、鳥取県(2.6)からの報告が多く、年齢群別では 4 歳から 6 歳が全体の約 3 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 6,701 人(2.1)で前週比 122%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.5)の約 0.6 倍であった。大分県(5.0)、富山県(4.0)、香川県(3.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 2 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年7月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は50人(3.9)で、前月比132%と増加した。また、昨年7月(2.1)の185%であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月の1.3倍、昨年7月の約1.7倍であった。

20歳代が全体の約半数を占めた。(男性9人・女性17人)

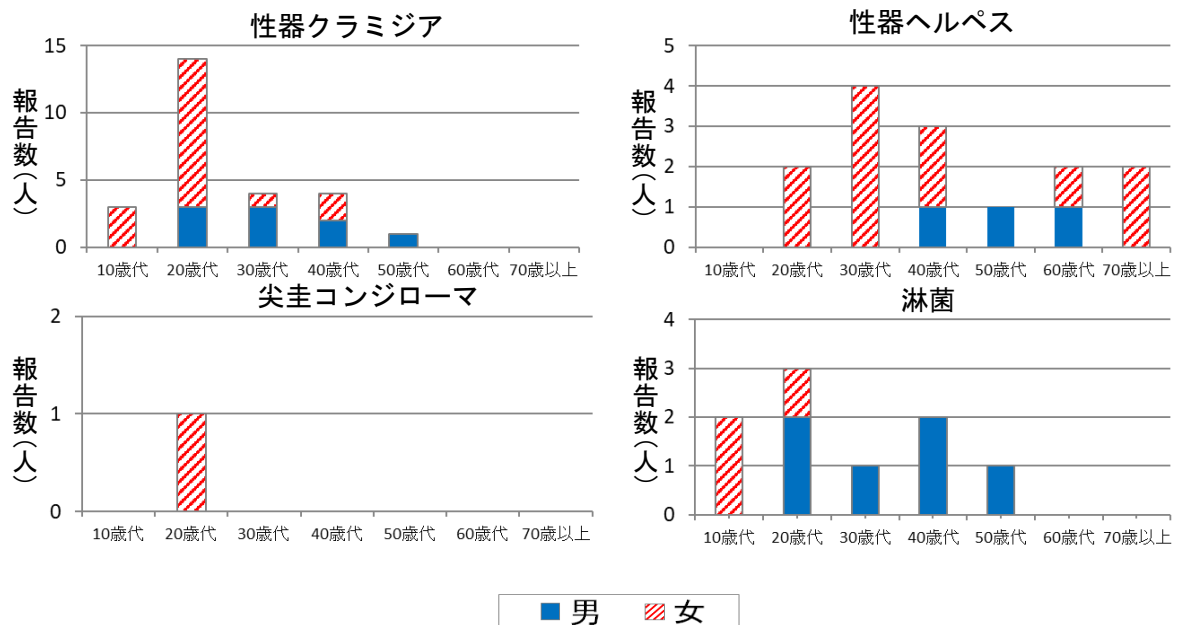
○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数14人(1.1)で、前月の約1.1倍、昨年7月の約2.8倍であった。

(男性3人・女性11人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の0.5倍、昨年7月と同じであった。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数9人(0.69)で前月の3.0倍、昨年7月の1.5倍であった。

(男性6人、女性3人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,402人(4.5)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,427人(2.5)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症741人(0.76)で前月比93%、尖圭コンジローマ466人(0.48)で前月比83%、淋菌感染症768人(0.79)で前月比123%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は22人(3.1)で、前月比169%と増加した。また、昨年7月(2.1)の147%であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数22人(3.1)で、前月の約1.7倍、昨年7月の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,340人(2.8)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,268人(2.7)で前月比102%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症64人(0.13)で前月比144%、薬剤耐性緑膿菌感染症8人(0.02)で前月比67%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第32週(08月03日～08月09日)

疾病名		第31週	第32週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	29	12	7		2	1		1		1	
	定点当り	0.81	0.33	0.70	0.00	0.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	95	75	20	9	30	11	4			1	
	定点当り	2.64	2.08	2.00	1.50	7.50	3.67	1.33	0.00	0.00	0.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	118	108	11	30	3	14	9	12	4	20	5
	定点当り	3.28	3.00	1.10	5.00	0.75	4.67	3.00	3.00	4.00	5.00	5.00
水痘	報告数	6	6	3	1			1			1	
	定点当り	0.17	0.17	0.30	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	10	9	2	4		1				2	
	定点当り	0.28	0.25	0.20	0.67	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.08	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	27	24	10		1	2	2	4		5	
	定点当り	0.75	0.67	1.00	0.00	0.25	0.67	0.67	1.00	0.00	1.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	77	73	1	30	30	9			3		
	定点当り	2.14	2.03	0.10	5.00	7.50	3.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	3			3						
	定点当り	0.14	0.08	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	7	6		1						
	定点当り	1.00	1.17	2.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～32週)

2類感染症	結核	107例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	15例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例(1)
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	10例
	破傷風	3例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	261例(66)	重症熱性血小板減少症候群	3例
			レジオネラ症	6例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例(1)

()内は今週届出分、再掲